

# 週刊新社会

2月13日



2018年号外  
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 164円 1部 150円 41円  
http://www.sinsyakai.or.jp/  
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

安倍改憲を許さない3000  
万署名にご協力を！ 連絡い  
ただければ取りに伺います。

## 国保料年間1万2千円強引き下げへ 保険料など国保運営協議会が了承

「実質収支額が例年の5割増し、約15億4,000万円、1人当たり約3万3,000円になっています。例年を超える1人1万円は保険料引き下げに使ってもいいのではないかと、おさなみ議員が昨年9月、国民健康保険特別会計決算討論で指摘した。予算で組まれた一般会計からの繰出金2億円を1億5千万円に減らしてもこの数字。

新年度から国民健康保険制度は県単位に広域化される。しかし、県の試算では1747号で既報のとおり、野田市は平均2487円、2.3%の引上げとなる。これでは何のための広域化かとなるのは当然。

その後野田市の県への納付額とそのため標準保険料率が示された。しかし、その計算では約1億6800万円の不足が生じることになり、そのままではさらに値上げになりかねない。

### 巨額の貯金活用策

2月6日に開催された国保運営協議会では市から経過と対策が報告され、あわせて今年度末に約20億7千万円に上る財政調整基金の

表1 保険料比較

	医療分				支援分		介護分		一人あたりの保険料
	応能		応益		応能	応益	応能	応益	
	所得割	資産割	均等割	平等割	所得割	均等割	所得割	均等割	
現行	7.16%	5.00%	26,200円	25,000円	1.84%	10,000円	1.50%	12,200円	103,555円
19年度	5.50%	なし	14,000円	34,000円	2.75%	11,800円	2.24%	13,300円	91,082円

活用策が提示された。

市は基金活用の12パターンのシミュレーションを示し、所得階層700万円未満の世帯において保険料が増額となることのないケース11を採用したいと提案。協議会はそれを了承した。

ケース11は新年度、5億3700万円の基金を投入し、医療分の所得割を5.50%、均等割1万4千円、平等割3万4千円、後期高齢者支援分の所得割2.75%、均等割1万1800円、40歳から64歳までの介護分の所得割2.24%、均等割1万3300円で、一人当たりの合計保険料年額9万1082円に引き下げるもの(表1)。

その結果、一人あたりの保険料は現在の10万3550円から9万1082円に下がり、東葛9市中2番目の高さから下からほぼ2番に下がる(表2)。

冒頭のおさなみ議員の指摘が生かされる結果になった。

あわせて市は前回提示

表2 保険料東葛各市比較

	一人当たり保険料	現行順位	新順位
浦安市	106,076	1	1
野田市・現	103,555	2	—
流山市	101,645	3	2
柏市	100,093	4	3
松戸市	94,177	5	4
市川市	93,774	6	5
鎌ヶ谷市	92,103	7	6
野田市・新	91,082	—	7
我孫子市	90,824	8	8
船橋市	89,586	9	9

新年度は船橋市が一人1500円引き上げる見込みで、そうすると野田市は船橋市よりごくわずかに低くなる。他市は現行のままの予定。

して決定されたはり、きゅう、あん摩等の施設利用券枚数削減について、それを行わないことなどを次回の協議会に諮りたいと発言した。当然の結果であろう。

表3 所得階層別世帯数・割合

所得階層	世帯数	割合	割合累計
未申告、0円	7,280	29.27%	36.75%
1円～33万円	1,860	7.48%	
～100万円未満	4,094	16.46%	51.90%
～200万円未満	5,745	23.10%	
～300万円未満	3,069	12.34%	11.35%
～400万円未満	1,279	5.14%	
～500万円未満	580	2.33%	
～600万円未満	285	1.15%	
～700万円未満	188	0.76%	
～800万円未満	114	0.46%	
～900万円未満	88	0.35%	
～1000万円未満	50	0.20%	
1000万円以上	236	0.95%	
合計	24,868		100.00%

## すべては憲法改「正」のために そこに平和や国民の幸せはあるか

野田・九条の会主催の講演会が11日、市内公民館で開かれた。講師は東京新聞論説委員の半田滋さん（写真右）。テーマは「自衛隊を憲法に書きこむとどうなるの？」。参加者は100名余。

半田さんの話はいつ聞いても論理的かつ新鮮だ。新鮮と感じるのはそれだけ改憲情勢の動きが激しく速いからだろう。

まず安倍総理が主張している憲法1項、2項を残して自衛隊を憲法に書きこむと、後からできた法が優先されるので軍隊の不保持、交戦権の否認が死文化される。そうなれば自衛隊は軍隊と化して米軍とともに戦争に駆り出される。

そこで戦闘に直接かわかわらず、物資の補給だと主張してもそれは通らない。相手は日本を敵国とみ

なして攻撃されるのは避けられない。

仮に朝鮮半島での戦争に巻き込まれたら日本にどのような被害がもたらされるのか、政府は国民に説明しなくてはならない。ミサイルが飛んできたら頭を抱えて伏せれば済むというものではない。主権者に説明せず、近隣との軋轢ばかり、吹聴するのは不誠実だ。

現在の安保法の集団的自衛権行使には日本の存立基盤の危機という条件があるが、それは簡単に越えられてしまう。

集団的自衛権の名の下にこれまでベトナム戦争や、ソ連のハンガリー動乱、チェコ介入、アフガニスタン参戦、米軍のニカラグア侵攻などが堂々とやられた。当該政府の支援要請にこたえる形だっ



た。

もっともニカラグア侵攻は、侵攻後に周辺国からの要請という形だったので国連で違法とされたが。

そして半田滋さんは南スーダン派遣や朝鮮半島情勢の危機を語った。昨年秋の総選挙は朝鮮半島で戦争が起きる前にと判断があつたのではと語り、日本の平和や国民の幸せではなく、自分の空想する国家をめざす安倍政権を強く批判した。



9日夕方、前日の東京理科大の合格発表に続いて入学手続きを終えた高校生等が運河駅に大勢歩いて行った。その時の運河の夕方の風景がこの写真。理科大の思い出に運河周辺が刻まれるであろう。

カモが浮かび黄金色の水面の風景を水明先生が俳句に詠んでくれた。  
夕鏡の如き運河や浮寝鳥 水明

**ウソ、ごまかし、でたらめ  
ふざけた国会答弁許せない!**



**昭恵さん、佐川さん、孝太郎さん、  
証人喚問で説明を!**

確定申告が始まる16日に、森友学園問題で、国会で虚偽答弁を繰り返した佐川宣寿国税庁長官の罷免を求めるデモが行われる。

デモは午後1時半に日比谷公園西幸門にしさいわいもん（日比谷野外音楽堂ステージ裏手）を出発し、国税庁周辺でアピールする。主催は森友・加計問題の幕引きを許さない市民の会。